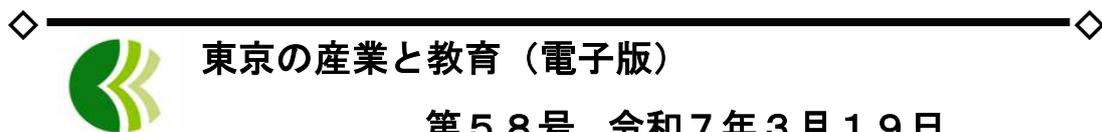


※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



第58号 令和7年3月19日

この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。  
会報電子版の記事は、都産振HPにも一部掲載されております。合わせてご覧いただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.tosanshin.org/>

☆今号のコンテンツ

- 【1】 東京商工会議所葛飾支部設立50周年記念式典（1月）
- 【2】 令和6年度企画推進委員会（第3回）の報告（1月）
- 【3】 会報167号発行（1月）
- 【4】 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア（1月～2月）
- 【5】 都庁で優良卒業生の表彰状受渡（2月）
- 【6】 都立大島海洋国際高校3年生解散式（3月）
- 【7】 「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会（第2回）（3月）
- 【8】 大田区産業教育懇談会（第1回）（3月）
- 【9】 都立工科高校資格取得アシスト制度について
- 【10】 令和7年度東京都産業教育振興会年間予定表
- 【11】 情報提供のお願い

☆

- 【1】 東京商工会議所葛飾支部設立50周年記念式典（1月）

1月10日(金)、テクノプラザかつしかにて、東京商工会議所葛飾支部設立50周年記念式典が開催されました。式典は、東京商工会議所葛飾支部 浅川弘人会長、小林健

会頭のあいさつに続き、青木克徳葛飾区長の来賓祝辞、支部功労者表彰、永年会員表彰が行われました。式典には、多くの方々が出席され、盛大に執り行われました。

事務局からは、花野耕一、早川忠憲の2名が出席いたしました。



## 【2】令和6年度企画推進委員会（第3回）の報告（1月）

1月17日（金）、都庁第二本庁舎教育委員会室にて、本年度第3回目の企画推進委員会を開催しました。開会のご挨拶を西澤宏繁会長より頂いた後に出席者の自己紹介をしました。座長を都立府中西高等学校の小川直哉校長にお願いし、本年度の専門高校等への支援事業及び事業活動経過等について、会報167号の発行についてなど8報告、会誌63号の発行及び創立70周年事業など、9議案の協議が行われました。委員の方々から活発なご意見を頂きましたので、今後の活動に生かしてまいります。



## 【3】会報167号発行（1月）

1月24日（金）に会報167号を発行いたしました。掲載内容は以下の通りです。

- 【1】専門高校における外部人材を活用した探究的な学びの充実に向けて  
～新たな価値の創造に向けた専門的能力・職業実践力の育成～  
東京都教育庁指導部主任指導主事（産業教育担当） 山本進一
- 【2】（実践報告）

高等学校看護教育60周年 東京都における15歳からの看護教育  
愛国高等学校・愛国高等学校衛生看護専攻科 校長 織田奈美

- 【3】（実践報告）  
第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会への取組  
東京都立蔵前工科高等学校 機械科ロボティクスコース 教諭 増田泰治
- 【4】在校生からのメッセージ「INFINITY」  
西東京市立田無第三中学校 第2学年 小田桐実葉  
東京都立江東商業高等学校 ビジネス科 第3学年 川島由璃
- 【5】卒業生からのメッセージ「BEYOND」  
東京都立農業高等学校 令和元年度卒業  
フラワーショップ京王つつじヶ丘店店長 松岡未唯  
東京都立若葉総合高等学校 令和5年度卒業  
神奈川大学 理学部 化学コース 山口千羽
- 【6】産業界からのメッセージ 「企業会員の紹介」  
国光施設工業株式会社 代表取締役社長 坂西章  
東京商工会議所 常務理事 小林治彦（本会副会長）
- 【7】中学生・高校生の研究発表大会等を参観しました  
第21回創造ものづくりフェア in TOKYO  
第31回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会  
第12回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会
- 【8】事業活動報告  
産学懇談会（第2回・第3回）  
【第2回】9月13日（金） 都立大島海洋国際高校 実習船「大島丸」  
【第3回】12月5日（木） 日本工学院専門学校蒲田キャンパス  
令和6年度 作文コンクール  
令和6年度 教育功労者表彰

#### 【4】第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア（1月～2月）

1月25日（土）、1月31日（金）、2月1日（土）の3日間にわたり、東京栄養大学および都立六郷工科高校にて、全日本中学校技術・家庭科研究会主催の第24回全国中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。この大会の目的は、（1）中学生が知識や道具を馳使していろいろな条件のもと最適解を見つけ進んで生活を工夫し創造することを学んだ技術・家庭科の実践発表の場とする。（2）未来への飛躍を実現する人材を養成するために、多様な体験と切磋琢磨の機械を増大し、学習意欲やものづくりへの製作意欲の向上を図る。（3）優れた能力と多様な個性を伸ばす技術・家庭科の学習内容を広く国民に知らせるとともに、全国の技術・家庭科教員の指導力向上を目指す研修の場とする。



内容は、①生徒作品コンクール②木工チャレンジコンテスト③創造アイデアロボットコンテスト④プログラミングコンテスト⑤「あなたのためのおべんとう」コンクール⑥「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクールです。

会場の来られた人たちは中学生が真剣に取り組む姿を見てとても感動していました。

この大会を支えていただきました全日本中学校技術・家庭科研究会 三浦利信会長（羽村市立第一中学校長）、大会事務局 奥平雄二事務局長（世田谷区立玉川中学校長）、会場校 都立六郷工科高校 鈿持利治校長などの皆様に感謝を申し上げます。



## 【5】都庁で優良卒業生の表彰状受渡（2月）

2月4日(火)・5日(水)に東京都庁第二本庁舎1階特設会場（第二本庁舎1階の南エレベーター前）にて優良卒業生の表彰状受渡を行いました。

毎年、受渡は、東京都産業教育振興会、東京都高等学校体育連盟、東京都高等学校文化連盟と合同で行っています。

会員校の皆様、大変お忙しい中、ご来庁していただき、ありがとうございました。



## 【6】都立大島海洋国際高校3年生解散式（3月）

3月2日(日)午後8時頃より 都立大島海洋国際高等学校3年生が竹芝旅客ターミナルで毎年恒例の解散式が行われました。卒業式終了後に午後2時ころ3年間過ごした伊豆大島を離れます。そして午後7時45分東京（竹芝栈橋）に到着後、解散式が行われます。多くの保護者が出迎える中、解散式は、生徒代表挨拶、保護者代表挨拶、校歌斉唱、最後に制帽を高らかに投げ上げる儀式をもって終了いたしました。生徒・保護者の喜びはこの上なく、皆うれし涙に暮れている姿が印象的でした。3年生の皆様、三年間よく頑張りました。ご卒業おめでとうございます。



## 【7】令和6年度「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会（第2回）（3月）

3月7日（金）に福生市商工会（扶桑会館）にて令和6年度「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会（第2回）が開催されました。

この事業は、西多摩地域を愛し、西多摩地域で働き、西多摩地域を活性化させていく人材の育成を目的としています。

初めに西澤宏繁東京都産業教育振興会会長の挨拶に続いて、事務局花野耕一より「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会（第1回）の報告をいたしました。その後、高校や商工会、商工会議所により産学連携の情報交換などを行われ、続いて会の名称変更や開催日程などが協議されました。次年度より新たな名称である「西多摩地域産業教育懇談会」としてスタートいたします。第2回目となりました今回の連絡協議会は、第1回目と同様に大変有意義なものとなりました。

お忙しい中、ご出席いただきました会員の皆様には大変感謝いたします。今後とも引き続き、宜しくお願い致します。

今回、連絡協議会に参加された高等学校・商工会・商工会議所は以下のとおりです。

- 都立秋留台高等学校
- 都立多摩高等学校
- 都立羽村高等学校
- 都立青梅総合高等学校
- あきる野商工会
- 福生市商工会
- 羽村市商工会
- 瑞穂町商工会
- 日の出町商工会
- 青梅商工会議所



## 【8】令和6年度大田区産業教育懇談会（第1回）（3月）

3月13日（金）に大田区立池上会館2階集会室にて令和6年度大田区産業教育懇談会（第1回）が開催されました。

この事業の目的は、大田区内の企業・小学校・中学校・高等学校・専門学校、大田区役所、大田区教育委員会、東京都教育委員会、一般社団法人大田工業連合会、一般社団法人大田CP21、東京都産業教育振興会等が一堂に会し、情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、義務教育から高等学校教育まで一貫した大田区独自のキャリア教育の構築を図り、将来の大田区及び大田区の産業を担う人材の育成に資することです。

初めに、西澤宏繁東京都産業教育振興会会長よりご挨拶をいただき、続きまして、梅崎修二大田区産業経済部長、今井健太郎大田区教育委員会事務局教育総務部長、広瀬安宏一般社団法人大田工業連合会会長、舟久保利明一般社団法人大田CP21代表にご挨拶をいただきました。その後、東京都産業教育振興会事務局花野耕一より本会の趣旨説明を行った後に以下の7発表を行いました。発表題目と発表者は以下の通りです。

- ① 「大田区の産業支援施策について」  
高野耕治 大田区産業経済部産業振興課工業振興担当課長
- ② 「本校におけるキャリア教育について」  
関真理子 大田区立出雲小学校長
- ③ 「本校におけるキャリア教育の取組」  
五十嵐弘毅 大田区立大森第三中学校副校長
- ④ 「本校における各学年における進路学習の実際」  
佐藤優太 大田区立大森第三中学校主幹教諭
- ⑤ 本校におけるキャリア教育について」  
釧持利治 都立六郷工科高等学校長
- ⑥ 「本校におけるキャリア教育について」  
片桐あかね 都立つばさ総合高等学校長
- ⑦ 「本校におけるキャリア教育について」  
田中清江 東京実業高等学校長

発表後、折田和宙大田区教育委員会統括指導主事と田中智弘東京都教育庁指導部指導主事よりまとめ（感想）をいただきました。続きまして、長谷克己東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課ものづくり教育推進担当課長の閉会の挨拶をもって、閉会いたしました。大変有意義な懇談会となりました。お忙しい中、ご参加していただきました皆様には感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。





## 【9】都立工科高校資格取得アシスト制度について（2024年5月27日時点）

令和6年度から、都立工科高校では工業系分野の資格取得にチャレンジする生徒を支援するため、資格取得にかかった費用が最大半額補助される制度「工科高校資格取得アシスト制度」が新たに始まりました。

（補助を受けられる資格は年度につき1人1つまでです。また、資格ごとに補助額の上限があります。）

### 1 補助の対象者

以下の生徒が、補助の対象者です。

○都立工科高校に在籍している生徒

○対象の工業系資格を受験する生徒

なお、都立工科高校に在籍していない場合や対象の工業系資格を受験しなかった場合は、補助を受けられません。

### 2 補助の対象となる経費

資格の取得にかかった以下の費用が補助の対象です。

① 資格や検定の受験料

② 試験対策用講座の受講料

③ 試験対策用テキスト・問題集の代金

④ 試験対策用の材料費 など

なお、試験対策用の材料費（電線、木材など）は、学校を通じて購入した材料に限り補助の対象です。

### 3 対象資格（例）

さまざまな工業系分野の資格約150種類が対象となる予定です。

対象資格の例は記載のとおりです。対象資格の一覧及び補助上限額は、東京都教育委員会のホームページ

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/high\\_school/specialized\\_school/tech/qualification\\_acquisition\\_assistance\\_system](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/high_school/specialized_school/tech/qualification_acquisition_assistance_system) から御確認ください。

（機械系）

- ガス溶接技能講習
- 3級自動車整備士
- 危険物取扱者 等

（建築系）

- 大工技能検定
- 建築CAD検定
- 二級建築士 等

（デザイン系）

- 色彩検定
- グラフィックデザイン検定
- レタリング検定 等

（情報系）

- ITパスポート
- 基本情報技術者
- 応用情報技術者 等

（電気系）

- 電気工事士（第一種、第二種）

- 第三種電気主任技術者 等

#### 4 補助額の計算例

第三種電気主任技術者を選択した場合（補助上限額 5万円）

- ① 資格取得にかかった費用が合計 8 万円の場合  
 （内訳：受験料 1 万円、講座受講料 4 万円、問題集代金 3 万円）  
 かかった費用の半額 = 4 万円（8 万円 ÷ 2） < 補助上限額 = 5 万円 ⇒  
 補助額 4 万円（かかった費用の半額）
- ② 資格取得にかかった費用が合計 12 万円の場合  
 （内訳 受験料 1 万円、問題集代金 4 万円、材料費 7 万円）  
 かかった費用の半額 = 6 万円（12 万円 ÷ 2） > 補助上限額 = 5 万円 ⇒  
 補助額 5 万円（補助上限額）

#### 5 補助金を受け取るまでの流れ

補助金を受け取るまでは、以下の流れの手続きが必要です。  
 専用サイト上で Web 申請を行ってください。

- ① 資格の選択  
 約 150 種の対象資格から、受験する資格を選択します。  
 補助を受けられる資格は年度につき 1 人 1 つまでです。
- ② 補助の申請  
 専用サイトで選択した資格に対する補助の申請をします。
- ③ 試験対策・受験申込み  
 資格の取得に向けた試験対策や受験の申込みを行います。  
 受験料や試験対策用のテキストの代金等を支払います。
- ④ 資格を受験  
 申請した資格を受験します。  
 資格試験を受験しなかった場合、補助を受けられません。
- ⑤ かかった費用の報告  
 専用サイトで実際にかかった費用を報告します。
- ⑥ 補助金の受取り  
 指定された口座にかかった費用の最大半額が振り込まれます。

工業系資格でスキルアップ  
ものづくりスペシャリストを目指そう！

都立工科高校生は  
資格取得にかかった費用が  
最大半額補助されます

工科高校資格取得  
アシスト制度

令和6年4月から始まります

補助の対象者

- 都立工科高校に通っている生徒
- 工業系、科学技術系の都立高校
- 有効な工業系資格を取得する生徒
- 受験料の報告、補助金の受取り

補助の対象となる経費

- 資格の取得にかかった費用
- 資格や検定の受験料
- 試験対策用テキスト・問題集の代金
- 試験対策用の材料費 など

ホームページで  
ご確認ください

東京都教育委員会

工業系分野の資格約150種の中から、  
あなたにピッタリの1つを選ぼう。年度ごとに1人1つまで受験可能！  
詳しくは「対象資格」のページをご覧ください。

対象資格 (例)

工業系分野の資格約150種の中から受験できる資格です。

- 機械系**
  - ガス溶接技術者
  - 3次元図面製作者
  - 3次元図面検査士
  - 3次元図面検査士
- 電気系**
  - 電気工事士 (第一種、第二種)
  - 電気機械主任技術者 など
- デザイン系**
  - 色彩検定
  - プロフェッショナルデザイナー
  - グラフィックデザイナー
  - グラフィックデザイナー
- 情報系**
  - ITパスポート
  - 基本情報技術者
  - 応用情報技術者

補助額の計算例

第二種電気主任技術者を受験した場合（補助上限額 5万円）

パターン①：資格取得にかかった費用 合計 8 万円の報告  
 (内訳：受験料 1 万円、講座受講料 4 万円、問題集代金 3 万円)  
 かかった費用の半額 = 4 万円 (8 万円 ÷ 2) < 補助上限額 = 5 万円 ⇒ 補助額 4 万円 (かかった費用の半額)

パターン②：資格取得にかかった費用 合計 12 万円の報告  
 (内訳：受験料 1 万円、問題集代金 4 万円、材料費 7 万円)  
 かかった費用の半額 = 6 万円 (12 万円 ÷ 2) > 補助上限額 = 5 万円 ⇒ 補助額 5 万円 (補助上限額)

補助金を受け取るまでの流れ (予定)

補助金を受け取るまでは、以下の流れの手続きが必要です。専用サイト上で Web 申請が必要です。

1. 資格の選択
2. 補助の申請
3. 試験対策・受験申込み
4. 資格を受験
5. かかった費用の報告
6. 補助金の受取り

お問い合わせ  
 Mail: kouka\_jishu@kaiyaku.metro.tokyo.lg.jp  
 Web: kouka\_jishu@kaiyaku.metro.tokyo.lg.jp (Web) 公開、募集開始となります。

## 【10】令和7年度東京都産業教育振興会年間予定表

令和7年度 年間行事等予定表（令和7年3月25日現在）東京都産業教育振興会

※繰会前でもあり、変更もあり得ます。御承知おください。

月	日(曜)	行 事・業 務	場 所	時 間 等
5	上旬	教育功労者候補推薦案内送付		
	12日(月)	葛飾区産業教育懇談会	テクノプラザかつしか	15時～17時
	16日(金)	理事会	全商会館	14時～16時
	23日(金)	作文選考委員会(合同)	都庁第二本庁舎	15時～17時
	30日(金)	「作文コンクール」募集案内送付		
6	中旬	佃下鶴金記念産業教育功労者候補推薦締切		
	19日(木)	総会・講演会	全商会館	14時～16時30分
7	上旬	「研究奨励助成」申請関係書類配布		
	上旬	会費納入お知らせ		
	4日(金)	企画推進委員会(第1回)	都庁第二本庁舎	15時～17時
	中旬	産学懇談会(第1回)	未定	14時～17時
	下旬	「会報」第168号発行・配布		
8	上旬	「研究奨励助成金」配付(振込)		
	上旬	西多摩地域産業教育懇談会	未定	15時～17時
	中旬	「中学校技術・家庭科及び専修学校・短大教育功労者」推薦締切		
	下旬	「作文コンクール」募集案内(再)		
	下旬	会費納入期限		
9	12日(金)	「作文コンクール」募集締切		
	上中旬	産学懇談会(第2回)	未定	14時～17時
	中下旬	優良卒業生表彰案内送付		
10	23日(木)	「作文コンクール」選考委員会(中学)	都庁第二本庁舎	13時～17時
	24日(金)	「作文コンクール」選考委員会(高校・専修学校等)	都庁第二本庁舎	13時～17時
11	11日(火)	「中学校技術・家庭科及び専修学校・短大教育功労者」及び「佃下鶴金記念産業教育功労者」表彰式	全商会館	15時～16時30分
	中下旬	大田区産業教育懇談会	未定	14時45分～16時45分
	21日(金)	企画推進委員会(第2回)	都庁第二本庁舎	15時～17時
12	上旬	産学懇談会(第3回)	未定	14時～17時
	19日(金)	「作文コンクール」表彰式	東京商工会議所	15時～16時30分
	下旬	「会報」第169号発行・配布		
1	16日(金)	企画推進委員会(第3回)	都庁第二本庁舎	15時～17時
2	上旬	優良卒業生表彰状交付	都庁第二本庁舎	9時～17時
3	上旬	会誌「東京の産業教育」第63号発行・配布		
	上旬	作文集「明日に生きる」第36号発行・配布		

【11】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局早川までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有して下さるようお願いいたします。

\*\*\*\*\*  
東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内  
東京都産業教育振興会 事務局 (担当：早川)  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1  
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247  
E-mail: Tadanori\_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp  
\*\*\*\*\*